

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 外国人学生の受け入れ環境を改善するために、生活及び学修相談を行う窓口を設置する。	→「学部の社会人学生・留学生・帰国生徒数」、「留学生の相談件数・相談内容の類型別件数」、「TA (Teaching Assistant:ティーチング・アシスタント) 数」、「学部卒業生の進路データ (キャリアセンター提供)」、「学部でのコース別選択者数 (司法コース選択者の%)」、「留学生のコース別内訳」	C
2. 学生の海外派遣、国連ボランティアの参加推進のために懇談会 (説明会兼) を開催する。	→「懇談会開催数・参加人数・開催プログラム」、国連ボランティア (UNV) の参加者数	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目 7.0.1	(現状説明) 09年度データによると、留学生受入数は、正規・交換ともに減少傾向にあり、対策が急がれる。留学生向けの相談窓口設置の準備として、今年度は、運営上のガイドライン等を作成するため、現在学部で実施中のティーチング・アシスタントによる「学修相談」や学部事務室のカウンターでの留学生の相談、さらに他部局での相談件数や内容の調査を実施した。留学生による本学部の制度及びカウンターの利用はなく、窓口でのアクセスは、国際教育協力センターでのビザ申請、奨学金申請の事務的手続きが中心で、日常的な相談や精神面でのケアはなく、また、他部局でも特定窓口ではなく、アルバイトの内容報告や留学生懇談会の開催といった多様なチャンスを通じて、留学生の実態等を把握しているとの調査結果を得た。今回の調査から、特定窓口の設置も、重要であるが、留学生との多様なコンタクト (各種手続き・懇談会などを含む) を通じて獲得された問題状況に対し早急に的確に把握・対応出来る「連絡網作り」が急がれるのではなかと考える。
☆ 小項目 7.0.2	(現状説明) 09年度の学生の海外派遣数は、長期は現状維持、短期は、倍増、但し、国連ボランティア数は、減少という結果を得た。国連ボランティア数の減少については、本プログラムを推進されていた教員が、在外研究により不在であったことが大きく影響しており、組織としての取り組みの不足を例証することとなった。今年度は、留学生懇談会の開催に向け、他部局での事例収集を行ったが、留学生懇談会は、多様な役割を期待できるとの認識が得られ、今後は、留学生懇談会の開催を中心に、学生の海外派遣、国連ボランティアに関する法学部の国際交流全般に関するガイドライン作成の準備を行う。
☆ その他	

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【法学部】			単位	2005	2006	2007	2008	2009	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	—	—	—	—	—		
指標2	国際交流協定締結国数		国	—	—	—	—	—		
指標3	海外からの学生の受け入れ	国 数	国	—	—	—	—	—		
		外国人留学生	正規	人	17	16	16	15	11	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	人	2	9	2	12	5	
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	
			交換	%	0.1	0.3	0.1	0.4	0.2	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—				
指標4	海外への学生の派遣	国 数	国	—	—	—	—	—		
		人 数	長期	人	16	7	15	12	11	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	人	23	34	42	24	50	
		在籍学生比率	長期	%	0.6	0.2	0.5	0.4	0.4	
短期	%		0.8	1.2	1.5	0.9	1.7			
指標5	人的国際学術研究交流 (受け入れ教員数)	長期	人	1	0	1	0	0		
		短期	人	2	3	0	2	2		
指標6	人的国際学術研究交流 (派遣教員数)	長期	人	2	2	0	1	4		
		短期	人	31	24	26	38	30		
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	—	3	0		

注) 正規、交換について

正規とは学位取得目的、交換は正規以外とする。

注) 長期、短期について

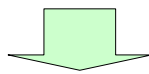
指標4: 1学期以上を「長期」とし、1学期未満を「短期」とする。

指標5・6: 1年間以上を「長期」とし、1年間未満を「短期」とする。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目 7.0.1	
★ 小項目 7.0.2	学生の海外派遣数は、長期で現状維持で、短期では、倍増している。これらの結果に対する評価であるが、本項目での施策の効果とともに「語学教育をはじめとする留学をすすめる学部教育やキャリアセンターによる就活指導」の効果といったより直接的施策をも総体的に評価する必要がある。国際交流の指標として学生海外派遣数を上げざるを得ないであろうが、その増減が、本項目の施策の反映と判断できない状況に注目すべきである。というのも、長期より短期の増加が、経済状況を反映した学費の調達上の困難性に連動するとか、短期の増加についても、就活において、これも不況を反映した企業の精査な面接（企業が学生生活で何か積極的に取り組んだにことを求めるなど）の増加に対する反応ともいえるからである。今後は、関連項目と指標の関連性や施策の相互関連につきデータの収集・分析を通じて、総合評価を行い得る観点の抽出に努める必要がある。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

小項目 7.0.1	
★ 小項目 7.0.2	法学研究科の国際交流の項目で目標とした法学部国際交流支援委員会（仮称）において支援のみならず、法学部・法学研究科における国際交流全般に関する施策とその評価に関する総合的な観点に付き検討が必要である。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目7.0.1	特定窓口の設置も、重要であるが、留学生との多様なコンタクト（各種手続き・懇談会などを含む）を通じて獲得された問題状況に対し早急に的確に把握・対応し得る「連絡網」等の整備が急がれる。
★小項目7.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目7.0.1	留学生との多面的な接触を通じて獲得された情報を「総合的」に収集・分析し、それらを基に、留学生に早急にかつ的確に対応がなし得るように、既存の制度・組織を再編（連絡網の整備含む）するとともに、取り扱い上のガイドラインの作成が必要である。
★小項目7.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価>（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

【学外委員】

○現状説明で「国連ボランティア担当教員の不在」の影響について記述がありますが、この部分だけかもしれませんが、「人頼み」状態で「組織」としての活動がない状態に見えます。組織を立ち上げそれが機能する形にもっていくことを検討されることが望まれます。また、学生の海外派遣について長期が少なく短期が増えているということですが、社会情勢などから現状では短期でもこのような体験が将来役立つことを考えると積極的に推進することも重要と思われまます。

【学内委員】

- 小項目7.0.1の説明においては、まず（方針）として、方針そのものを記述してから、現状説明してください。
- 小項目7.0.1の現状説明は、小項目7.0.2での説明だと思えます。
- 現状の説明が具体的です。また、改善方策が具体的に示されていますので、実施に移すことが期待されます。
- 現状説明されているように、組織としての取り組みが求められます。
- 点検・評価のサイクルが進行中と判断されます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★小項目7.0.1の説明の部分に（方針）を記述せよとの指摘に対し、例えば『大学の国際交流の方針を共有しつつ、学部独自の推進・支援策も検討・実施する』といった（方針）を記述することとする。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

7.0.0.S1	協定校と相互交流数(学生・教員)
7.0.0.S2	国別国際交流協定締結先機関数
7.0.0.S3	人的国際学術交流数

<個別的な指標>
